

平成28年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	低コスト信号機の開発に関する調査研究			担当部局庁	交通局		作成責任者			
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	交通規制課		交通規制課長 櫻澤健一			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—			関係する計画、通知等	—					
主要政策・施策	交通安全対策			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厳しい財政状況の下、交通安全施設である信号機を効率的かつ効果的に整備していくため、信号灯器の集約化等信号機整備の在り方について調査研究を行い、信号機設置コスト及び運用コストの低減を目指す。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国の信号機は、交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法が施行された昭和41年当時の約20倍のストックを数え、多数の機器の老朽化が進み、信号灯器の落下や信号柱の倒壊などの事象が全国で発生しており、今後も持続可能な信号機の整備を効果的かつ効率的に推進するためには、信号機の設置コスト及び運用コストの低減を図る必要がある。 そこで、これらの問題を解決するため、現行の信号機等が抱える問題点を整理し、信号灯器や信号柱の集約化等信号機の整備の在り方や複数交差点を一つの制御機で制御する信号制御機について研究・開発を行うなど低コスト信号機の調査研究を行うものである。 このため、平成26年度は機器の集約化等のための仕様を作成し、平成27年度はモデル事業としての実証実験及び評価を行なう。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	0	0	-				
		前年度から繰越し	-	0	0	-				
		翌年度へ繰越し	-	0	0	-				
		予備費等	-	▲3	▲20	-				
		計	0	25	39	0	0			
	執行額			2	24					
	執行率(%)		-	8%	62%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度	
	信号灯器や信号柱等の信号機の整備の在り方や複数交差点を一つの制御機で制御する信号制御機に関する報告書の作成	信号灯器や信号柱等の信号機の整備の在り方や複数交差点を一つの制御機で制御する信号制御機に関する研究の実施	成果実績	式	-	1	-			
			目標値	式	-	1	-			
			達成度	%	-	100	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度	
	モデル事業信号機の機器開発及び開発した機器の視認実験等の実証実験並びに報告書の作成	モデル事業信号機の機器開発及び開発した機器の視認実験等の実証実験の実施	成果実績	式	-	-	1			
			目標値	式	-	-	1			
			達成度	%	-	-	100			
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	調査研究実施結果報告書の作成			活動実績	式	-	1	1	-	
				当初見込み	式	-	1	1	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	年度執行額/事業数			単位当たりコスト	百万円	-	2	24	-	
				計算式	執行額/事業数	-	2/1	24/1	-	
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	計	0	0							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	安全かつ快適な交通の確保							
	施策	道路交通環境の整備							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 32年度
		老朽化した信号機数	実績値	基	-	-	-	-	-
		目標値	基	-	-	-	-	60,000	
事業所管部局による点検・改善									
	項目	評価	評価に関する説明						
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	老朽化信号機を効果的かつ効率的に更新整備していくことは、国民の生命・身体の安全確保に資するものである。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	統一的な仕様により全都道府県警察で整備する機器であり、国が実施すべき事業である。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	持続可能な交通安全施設の整備をするため、現行信号機の問題点等を整理し、改善を図ることは優先度が高い。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札により契約事業者を選定した。						
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	受益者は国民全体であるため妥当である。						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	単価等の検証を行った上で実施した。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業遂行に必要な項目を吟味して実施した。						
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	一般競争結果入札を行った結果落札価格が低額となったもの。							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業の実施に当たり、警察庁執務室で打ち合わせを行うなど経費削減に努めた。							
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	低コスト信号機の評価を実施し、報告書の取りまとめを行った。						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	開発機器の仕様を取りまとめた報告書を作成。						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物は、平成28年度に警察庁仕様で反映させる。						
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-						
	所管府省・部局名	事業番号	事業名						
点検・改善結果	点検結果	<p>1 過去の事業仕分け等の結果、横断的な見直し基準等の反映状況 事業の必要性等を検証し、単価等の検討を行った上で、予算の積算を行っている。</p> <p>2 事業の成果目標及び活動指標の設定状況及び事業効果等の検討状況 適切な成果目標及び活動指標を設定しており、事業効果も高いと認められる。</p> <p>3 国民のニーズへの対応 公共設備である老朽化した信号機を効果的かつ効率的に更新整備を行うことは、安全な交通環境を確保し、国民の生命・身体の安全確保に資するものである。</p> <p>4 警察庁が行う業務としての妥当性 全国の交通安全施設の経費削減を行うための新たな機器の開発は、今後全都道府県警察への導入を見据えて検証する必要がある、警察庁が行うべきである。</p>							
	改善の方向性	<p>1 資金の流れ等の事業計画の適切性 「仕様書」等により、契約履行状況等を適宜確認し、履行完了時における検査後、契約事業者に対し支出を行う。</p> <p>2 透明性の確保の状況 一般競争入札により契約事業者を選定し、開札は参加者立ち会いの下で執行する。</p>							

外部有識者の所見

外部有識者点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

おおむね具体的で十分な内容と認められる。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定通り終了

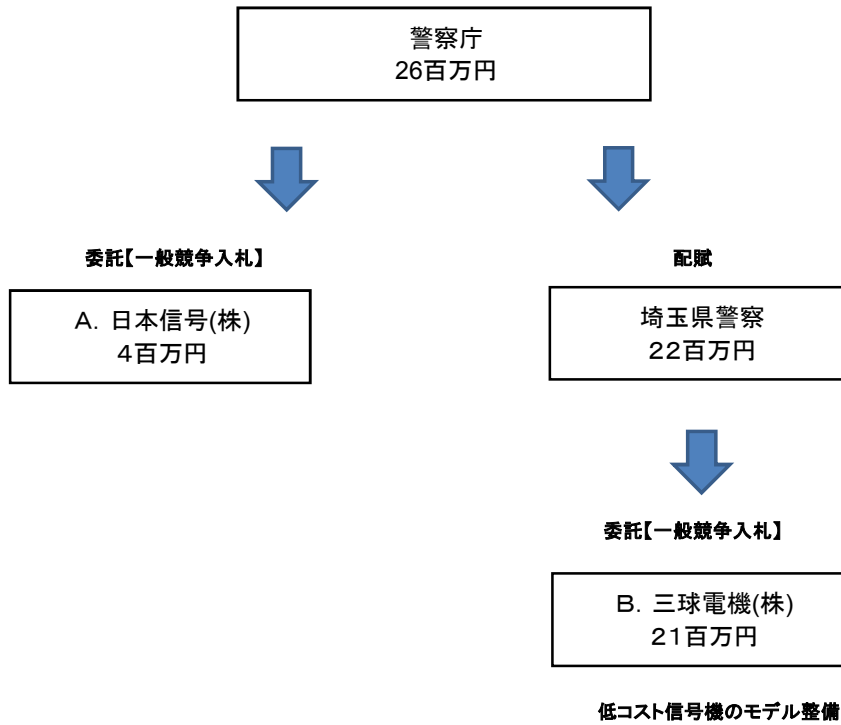
特になし。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	/
平成25年度	-	平成26年度	新26-0003	平成27年度	43	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.日本信号(株)			B.三球電機(株)			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	調査研究費	低コスト信号機の開発に関する調査研究費	4	調査研究費	低コスト信号機のモデル整備費	21	
	計		4	計		21	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						<input type="checkbox"/> チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本信号株式会社	9010001110631	低コスト信号機	4	一般競争入札	3	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三球電機株式会社	2011601002605	低コスト信号機の設置	21	一般競争入札	3	-	